

「まちの活性化・都市デザイン競技」について

(1) 主旨

活性化を図るべき中心市街地等について、まちづくりの構想・アイデアや都市デザインの提案を広く一般から求め、まちづくりに対する地元住民等の関心を高めるとともに、寄せられた提案の活用により、地区の計画及びデザインのレベルアップに寄与することを目的とします。

(2) 推進体制

- ・主 催：まちづくり月間実行委員会
(財) 都市づくりパブリックデザインセンター
- ・後 援：国土交通省
対象地区が所在する都道府県及び市町村
- ・事務局：(財) 都市づくりパブリックデザインセンター

(3) 表彰

- ① 国土交通大臣賞 1点 (賞金 50 万円)
- ② まちづくり月間実行委員会会長賞 1点 (賞金 30 万円)
- ③ (財) 都市づくりパブリックデザインセンター会長賞 1点 (賞金 15 万円)
- ④ 奨励賞 2点以内 (賞金各 10 万円)
- ⑤ (開催都市) 市長特別賞 適宜

(4) 応募図書

- ① 概要調書 (A4判 1枚に、提案要旨をまとめる)
- ② パネル (A2判 2枚に、コンセプト、地区全体の整備構想、主要な空間のデザイン、実現化方策等をビジュアルに表現する)

(5) 審査委員 (案)

委員長	西村幸夫	東京大学教授	}	固定メンバー (常任)
委員	石井幹子	東京大学教授		
	内藤 廣	建築家		
	岸井隆幸	日本大学教授		
	高見公雄	法政大学教授		
	国土交通省市街地整備課長			
	対象都市の首長		}	地元選出メンバー (非常任)
	対象都市を所管する都道府県の部長			

(6) コンペ対象地区の選定

- ・事務局が、全国の市町村を対象に、公募を実施。公募に寄せられた候補地の中から、コン

への題材としてより相応しい地区を選定します。

- ・なお候補地については、自薦・他薦を問わず随時受付。その中に相応しい地区があれば、公募を経ずして対象地区に選定することがあります。

(7) 応募作品の取り扱い（活用）

本コンペは、一般の建築設計コンペのように1等当選案を採用する（しなければならない）といった縛りのルールは一切なく、全ての応募作品の中から、部分的にでも良いアイデアがあればどしどし吸収し（アイデアの良いところ取りをして）、当該地区の計画に反映させていくというものです。但し作品の著作権は応募者に帰属するので、1作品のアイデアを大幅に採用するような場合は、著作権者の了解を得るべきと思われます。

(8) 実施スケジュール

- | | |
|----------------|--------------------|
| ① 対象地区の公募・選定 | 6月～7月 |
| ② 応募要領の作成 | 7月中旬～8月（事務局との共同作業） |
| ③ 募集開始 | 8月 |
| ④ 現地説明会（応募者向け） | 9月～10月 |
| ⑤ 現地視察会（審査員向け） | 10月 |
| ⑥ 応募作品提出 | 12月末締め切り |
| ⑦ 審査委員会 | 翌年の2～3月 |
| ⑧ 表彰 | 翌年の6月（まちづくり月間期間中） |

(9) 地元負担について

実施に当たっては、基本的には事務局である（財）都市づくりパブリックデザインセンターが諸業務を遂行しますが、下記の点において地元の協力をいただきます。

- ① 応募要領の作成補助（地区の現況・課題等の整理、競技テーマの設定等）、関連データの作成・提供
- ② 応募者現地説明会の会場提供（100人規模）と説明資料等の準備、現地案内等
- ③ 審査委員現地視察会の会場提供（会議室）と説明資料等の準備、現地案内等
- ④ 審査委員会（東京で開催）への出席（市長他の旅費）
- ⑤ 市長賞の創設（数点）・・・表彰状、副賞（賞金、記念品など）の準備と授与

(10) 対象地区、テーマ

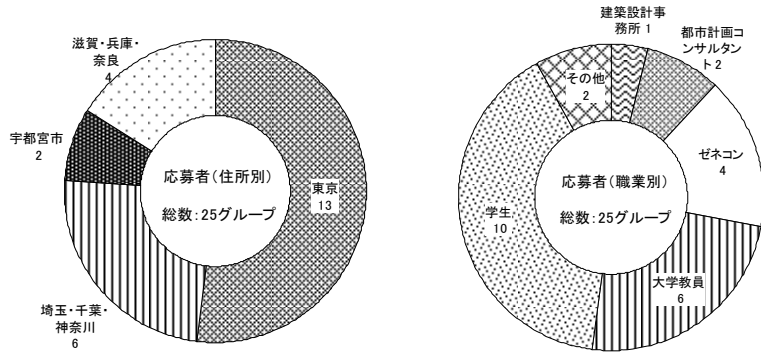
対象地区は既成市街地、新市街地を問いません。面積はおおよそ 5ha～20ha 程度を目安とします。テーマは過去の事例（下表）に見られるように、市街地開発・再生型（区画整理、再開発等）や保全・修復整備型、拠点形成型や居住環境改善型、構想段階のものや計画段階のもの、等々多様です。

過去の実施例

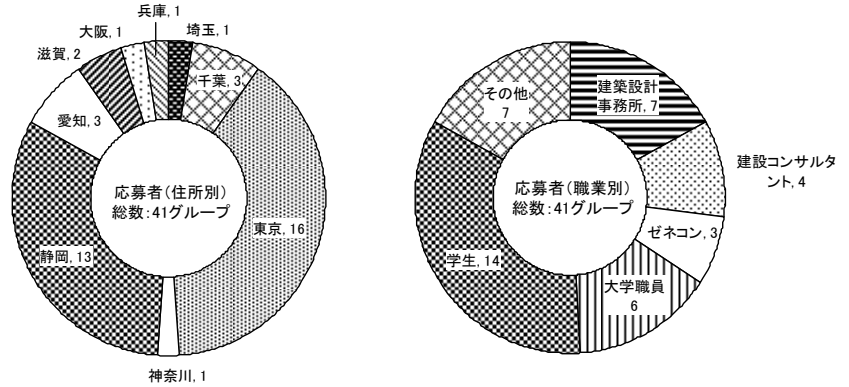
回数 (年度)	対象都市	対象地区（面積）	テーマ
第 7 回 (H16)	岡山県岡山市	桃太郎大通り沿道地区 (33ha)	風格と賑わいのある都心景観の創出 (都市軸道路の空間整備と沿道まちなみ景観づくり)
第 8 回 (H17)	神奈川県鎌倉市	鎌倉駅西口周辺地区 (12ha)	古都の玄関口にふさわしい質の高い生活空間と活力ある地域交流拠点の整備 (駅前広場とアクセス道路の整備、周辺土地利用)
第 9 回 (H18)	兵庫県姫路市	姫路駅周辺地区 (27ha)	姫路駅周辺の旧国鉄清算事業団用地について鉄道高架事業、土地区画整理事業を前提とした開発計画 (駅前広場・自由通路・駅舎整備、機能導入)
第 10 回 (H19)	埼玉県春日部市	春日部市中心市街地 (87ha)	春日部駅付近の連続立体交差化を前提にした駅周辺の地区の整備構想（駅前広場・自由通路・周辺土地利用）
第 11 回 (H20)	滋賀県彦根市	芹橋地区（14ha）	江戸時代の街割・建物が残る住居系市街地の歴史的まちなみ保全と居住環境の向上（保全・修復型市街地整備）
第 12 回 (H21)	栃木県宇都宮市	小幡・清住地区 (17ha)	旧日光街道沿いの歴史的資源を活かした街並みの形成とその周辺の住居系市街地の居住環境の向上 (区画整理事業と都心環状道路の整備)
第 13 回 (H22)	静岡県静岡市	七間町・七ぶらシネマ通り地区（7ha）	映画館街として栄えてきた地区において、映画館の移転跡地の活用等による中心市街地の新たな都市空間と機能づくり（跡地活用と機能導入）

1) 応募者の属性

① 第12回宇都宮コンペ
の応募者属性



② 第13回静岡コンペ
の応募者属性



2) 受賞者の所属

	国土交通大臣賞	まちづくり月間 実行委員会会長 賞	(財)都市づくり パブリックデザ インセンター会 長賞	奨励賞	奨励賞	奨励賞
第7回	大成建設(株)設計本部まちづくりグループ	(株)緑景	(株)環境デザイン機構	(株)アルテップ	岡山大学環境理工学部環境デザイン工学科	高知工科大学工学部社会システム工学科 助手
第8回	REIACH AND HALL ARCHITECTS	一級建築士事務所 松岡聡田村裕希	(株)アーバン・ハウス都市建築研究所	東京大学社会基盤学専攻景観研究室	高知工科大学大学院社会システム工学コース	東京工業大学社会理工学研究科社会工学専攻
第9回	(株)ジイケイ設計 大阪事務所	京都大学大学院工学研究科建築学専攻	ROMA Design Group	高知工科大学工学部社会システム工学科	高知工科大学大学院社会システム工学コース	高知工科大学大学院社会システム工学コース
第10回	大成建設(株)設計本部	(株)日建設計	日本大学生産工学部建築工学科研究室	戸田建設・東急建設ー設計若手JV	ランドスケープアーキテクト	ー
第11回	玉野総合コンサルタント(株)・(株)都市造形研究所	大成建設(株)設計本部	(株)オオバ大阪支店	横浜国立大学工学部建設学科	滋賀県立大学院大学環境科学研究科・アトリエタング建築工房	早稲田大学大学院創造理工学研究科・(株)日建設計・駒沢女子大学
第12回	フリープランナー	日本大学、横村隆子YHT環境設計	大成建設(株)設計本部・都市開発本部	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻	戸田建設(株)建築設計統轄部、東急建設(株)建築設計部	(株)竹中工務店
第13回	日本大学短期大学部建築学科	昭和設計(株)	玉野総合コンサルタント(株)	早稲田大学理工学術院創造理工学研究科建築学専攻	芝浦工業大学大学院環境設計研究室[中野恒明研究室]	ー

第13回(2010年)静岡市「七間町・七ぶらシネマ通り地区」の受賞作品

■時間中心市街地の特徴と課題

「時間中心市街地」とは、朝の通勤・通学時間帯に最も活気がある市街地を指す。この時間帯に最も活気がある市街地を「時間中心市街地」と定義する。この時間帯に最も活気がある市街地を「時間中心市街地」と定義する。この時間帯に最も活気がある市街地を「時間中心市街地」と定義する。

七間町地区は、朝の通勤・通学時間帯に最も活気がある市街地である。この時間帯に最も活気がある市街地を「時間中心市街地」と定義する。この時間帯に最も活気がある市街地を「時間中心市街地」と定義する。この時間帯に最も活気がある市街地を「時間中心市街地」と定義する。

七間町地区は、朝の通勤・通学時間帯に最も活気がある市街地である。この時間帯に最も活気がある市街地を「時間中心市街地」と定義する。この時間帯に最も活気がある市街地を「時間中心市街地」と定義する。この時間帯に最も活気がある市街地を「時間中心市街地」と定義する。

■地区整備のコンセプト

～共に創り、分かち、振り撒く～
『しあわせな時間』

- ◆「おまち」は「憩い」のできている。
- ◆七間町地区は、地区にも街にも「憩い」を宿らせる拠点としての役割を担い続ける。
- ◆与えられ、消費される楽しみ時間から「共に創り、分かち、振り撒く『しあわせな時間』」へ。

様々なしあわせの情景に合わせて読める、多様なオーダー空間
様々なしあわせの情景に合わせて読める、多様なオーダー空間
様々なしあわせの情景に合わせて読める、多様なオーダー空間

市民の憩い、憩いと個性を活かすマネジメントによる持続的発展
コメンティアの発展、憩いと個性、サテライト地区の発展により持続
新しい文化、憩い、憩いと個性を活かすマネジメントによる持続的発展
サテライト地区の発展と個性を活かすマネジメントによる持続的発展

■空間構成・ネットワークの方針

空間構成・機能導入
交通・ネットワーク

空間構成・機能導入
交通・ネットワーク

■事業手順

事業手順

■市民参加の動向

市民参加の動向

■マネジメント

マネジメント

■地区外のサテライトの可能性

地区外のサテライトの可能性

■コアエリアの活動と整備のイメージ

コアエリアの活動と整備のイメージ

コアエリアの整備

コアエリアの整備

コアエリアの活動

コアエリアの活動

コアエリアの整備

コアエリアの整備

コアエリアの活動

コアエリアの活動

コアエリアの整備

コアエリアの整備

コアエリアの活動

コアエリアの活動

コアエリアの整備

コアエリアの整備